

整理No. 2019-1		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生場所		研究本館前庭木			
災害発生日時		2018年 6月 5日(金) 14時30分 天候(曇り時々雨) 温度(22.3℃) 湿度(71%)			
災害区分		不休災害 休業災害(休業:△日) 重大ヒヤリ			
被災者	部門	総務人事室付技術業務課		雇用形態 正社員 、派遣、契約、その他()	
	年齢	36歳	性別: 男 女	勤続年数 3年8ヶ月	経験年数 3年8ヶ月
	傷病名	病名 (虫刺症)			
	傷病部位	上半身			
災害発生状況	・研究本館前庭木の雑草、および落葉の除草作業を実施した。 ・作業中に上半身の強い痛みや痒みを感じたので確認したところ、湿疹が上半身に広がっていた。特に右上腕部の腫れがひどかった。 ・医師の診断では、虫(毛虫)によるものではないかとのことであった。			状況概略(写真orイラスト) 	
	災害の型※1) 14その他 (9有害物との接触?)			作業の形態: 定常 、非定常、その他()	
	起因物: 虫(毛虫)【推定】			特記事項	
原因分類	1. 人的要因(man) : 毛虫などの有毒昆虫(*)がいることに気がつかなかった。(想定していなかった)				
	2. 物に関する要因(machine) : 長袖作業服、軍手は着用していたが、毛虫の侵入を防ぐことはできなかった。				
	3. 環境要因(media) : 草木が多い場所であり、人間に有害な有毒昆虫(*)が存在した。				
	4. 管理的要因(management) : 虫刺されや草木かぶれを考慮した除草清掃作業のマニュアルがなかった。				
対策	1. 草木の多い場所では有毒昆虫(*)が存在するという前提で作業することを周知・教育する。				
	2. 作業時は防虫スプレーの使用、首周りにタオルを巻く、袖カバーを着用するなど有毒昆虫(*)の侵入対策を行う。				
	3. 事前に除草剤を散布するなど雑草の発生を抑制し、毛虫発生時期は極力除草清掃作業を行わないようにする。				
備考	4. 虫刺されや草木かぶれを考慮した除草清掃作業マニュアルを作成する。				
	* 有毒昆虫: 毛虫、ヒアリ、セアカゴケグモ、アオバアリガタハネカクシ(やけど虫)など				
	対策分類※2): 1-1、1-6、2-4				
備考	類似箇所 の 摘出:				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)